

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成26年7月24日(2014.7.24)

【公開番号】特開2012-252294(P2012-252294A)

【公開日】平成24年12月20日(2012.12.20)

【年通号数】公開・登録公報2012-054

【出願番号】特願2011-127022(P2011-127022)

【国際特許分類】

G 02 F 1/167 (2006.01)

G 09 F 9/37 (2006.01)

G 09 F 9/30 (2006.01)

【F I】

G 02 F	1/167	
G 09 F	9/37	Z
G 09 F	9/30	3 4 1

【手続補正書】

【提出日】平成26年6月6日(2014.6.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

対向配置された第1基板および第2基板と、

前記第1基板の前記第2基板側に設けられ、前記第2基板側の表面に第1凹部および前記第1凹部よりも深さが浅い第2凹部を有する絶縁層と、

前記第1凹部および前記第2凹部を除く前記表面に設けられた反射板と、

前記第1凹部の底面に設けられた第1電極と、

前記第2凹部の底面に設けられた第2電極と、

前記第2基板の前記第1基板側に設けられた第3電極と、

前記第1基板と前記第2基板との間に充填された、前記反射板とは異なる色を有する電気泳動粒子が分散媒に分散してなる分散液と、を備えることを特徴とする電気泳動表示装置。

【請求項2】

前記第1電極と前記第2電極とが電気的に接続されていることを特徴とする請求項1に記載の電気泳動表示装置。

【請求項3】

前記第1基板には、

走査線と、

前記走査線と交差するデータ線と、

前記データ線と、前記第1電極および前記第2電極とを電気的に接続するトランジスターとが設けられていることを特徴とする請求項1または2に記載の電気泳動表示装置。

【請求項4】

前記第1電極は、前記第1凹部の側面に沿って前記第2基板側に伸びる側面部を有することを特徴とする請求項1乃至3のいずれか一項に記載の電気泳動表示装置。

【請求項5】

前記第1凹部は、平面視で間隔をおいて前記第2凹部を取り囲むように前記絶縁層に配

置されていることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載の電気泳動表示装置。  
。

【請求項 6】

前記第 2 凹部は、平面視で間隔をおいて前記第 1 凹部を取り囲むように前記絶縁層に配置されていることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載の電気泳動表示装置。  
。

【請求項 7】

前記第 1 凹部と前記第 2 凹部とは、平面視で一定の間隔をおいて前記絶縁層に配置されていることを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか一項に記載の電気泳動表示装置。

【請求項 8】

前記絶縁層に設けられた、前記第 1 凹部および前記第 2 凹部の総容積よりも、前記分散液中の前記電気泳動粒子の総体積が小さいことを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか一項に記載の電気泳動表示装置。

【請求項 9】

前記第 1 基板と前記第 2 基板との間に充填された前記分散液を含む電気泳動層を複数の領域に区画する隔壁を備え、

前記複数の領域の各々に対応して、前記第 1 電極および前記第 2 電極がそれぞれ一つ以上設けられていることを特徴とする請求項 1 乃至 8 のいずれか一項に記載の電気泳動表示装置。

【請求項 10】

請求項 1 乃至 9 のいずれか一項に記載の電気泳動表示装置を備えることを特徴とする電子機器。